

科目区分	専門基礎分野			科目番号	0407	曜日時間	不定期
授業科目	疾病治療論VI						
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	2年次前期	授業形態	講義
担当教員							
授業目的	1. 治療決定を判断する基準の1つを理解する。 2. 治療としての放射線療法と外科的治療の基本的な知識と技術を学び、機能障害で影響する生活援助に活用できる基礎的能力を養う。						
授業目標	1. 臨床検査の種類と役割について理解できる。 2. 検査値の正常・異常が判断でき、ヘルスアセスメントに活用できる基礎知識を学ぶ。 3. 放射線による検査の種類とその診断の基礎的知識を理解し、看護の視点を学ぶ。 4. 放射線被曝及び放射線防護の基本を知り、生活への影響を予防し、被曝を軽減する方法を学ぶ。 5. 周手術期看護の基礎として、外科的治療である手術療法と生活への影響を学ぶ。 6. 検査や治療が原因で、機能障害を引き起こす関連を理解できる。						
授業の内容と方法	回	授業内容		授業方法	時間	担当	備考
	2	臨床検査の目的と正常値 一般検査（穿刺、髄液検査など）、血液検査（血球検査・生化学・免疫検査など）、生理機能検査		講義	4		
	6	臨床放射線医学について 画像診断 1. 画像診断と看護 2. X線診断 3. CT 4. MRI 5. 超音波検査 6. 核医学検査 7. IVR・血管造影 放射線治療 1. 放射線治療総論 2. 放射線治療と看護 3. 放射線治療各論 放射線防護（放射線による障害と防護）		講義	12		
	7	手術療法について 1. 外科患者の病態の基礎 手術侵襲（炎症・感染症・腫瘍・外傷とショック） 2. 外科的治療を支える分野 麻酔法（麻酔の種類・術前中後管理全身麻酔） 機能障害との関連 呼吸管理（酸素療法・機械的人工換気など） 体液と栄養管理（体液管理と輸液、栄養管理） 輸血療法（過誤防止策・危険性・課題） 緩和医療（緩和ケア・全人的苦痛の緩和など） 3. 外科的治療の実際 外科的基本手技（基本小手技・創傷管理） 低侵襲治療（内視鏡ガイド下の治療） 臓器移植（基本知識と看護師の役割） 4. 救急看護の基礎 緊急処置の範囲と対象、救急看護の実際		講義	14		
終了後課題							
評価計画方法	筆記試験・授業態度						
テキスト参考図書	奈良 信雄他著：臨床検査，医学書院 福田 国彦他著：臨床放射線医学，医学書院 矢永 勝彦他著：臨床外科看護総論，医学書院						
実務歴有							
講義への反映							
備考							